期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	5,339,457,543	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：5,339,426,893（業務費：4,407,517,235、一般管理費：931,878,158、その他：31,500） イ）預託金（自動車リサイクル料）に係る計上額：30,650 ウ）固定資産等の取得額：1,146,617,355（建物：7,379,820、構築物：4,506,943、機械及び装置：9,725,100、車輌運搬具：5,037,612、工具器具備品：19,889,100、家畜：7,291,200、建設仮勘定：19,505,440、家畜仮勘定：1,010,572,198、ソフトウェア：30,345,000、棚卸資産（種子）32,364,942）
	資産見返運営費交付金	1,146,617,355	
	資本剰余金	—	
	計	6,486,074,898	
合計		6,486,074,898	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
24年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	76,170,204	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②運営費交付金債務残高の明細（人件費残：76,170,204） ③翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、翌事業年度において収益化する予定であります。
	計	76,170,204	
25年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	522,526,102	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②運営費交付金債務残高の明細（人件費残：246,423,253、契約済翌年度繰越額：154,808,398、未契約繰越額：113,897,710、前払費用：5,248,701、長期前払費用：1,106,430、棚卸資産（貯蔵品）：1,041,610） ③翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、翌事業年度において収益化する予定であります。
	計	522,526,102	

⑦　運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
施設整備費補助金	213,416,640	54,982,020	158,434,620	—	
計	213,416,640	54,982,020	158,434,620	—	